

第39回横須賀市港湾審議会資料

# 横須賀港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

令和 3 年 2 月

横須賀港港湾管理者

横 須 賀 市

## 目 次

I	変更理由	1
II	港湾施設の規模及び配置に関する資料	2
II-1	水域施設計画	2
III	環境の保全に関する資料	6
III-1	環境への影響と評価	6
III-2	総合評価	6
IV	その他の資料	7
IV-1	横須賀市港湾審議会委員名簿	7

## I 変更理由

- 1 長浦地区において、当該水域を利用する船舶の大型化に対応するため、水域施設計画を変更する。

## II 港湾施設の規模及び配置に関する資料

### II-1 水域施設計画

#### II-1 航路計画

##### (1) 計画変更の必要性

長浦地区において、当該水域を利用する船舶の大型化に対応するため、航路を変更する必要がある。

##### (2) 航路の規模及び配置

対象船舶については、以下のとおりである。

最大積載時排水量(t)	全長(m)	型幅(m)	喫水(m)
9,558	173.1	16.8	10.4
8,408	153.9	17.8	10.2

計画に位置付ける航路の規模及び配置は次のとおりである。

表 II-1 今回計画する航路の規模及び配置の考え方

地区	航路名	水深(m)	幅員(m)	内容	水深設定の考え方	幅員設定の考え方
長浦	長浦航路	-11.5	248	既設の変更計画	対象船舶の満載喫水の1.1倍以上として水深11.5mを確保。	対象船舶の船長の1倍以上(船舶の行き会いを想定する航路幅)

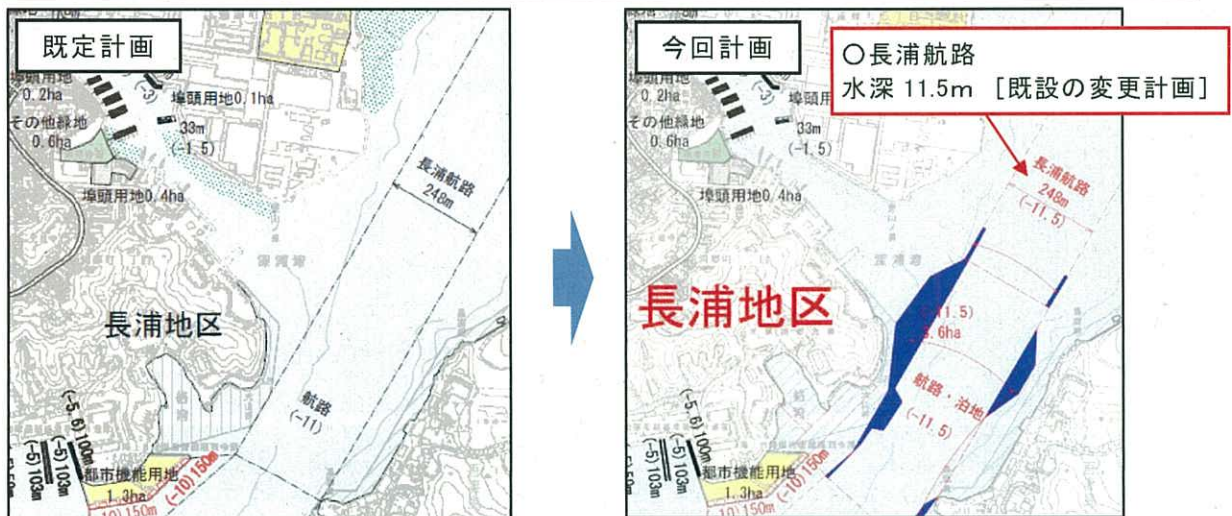


図 II-1 今回計画する航路の位置図

## II-2 泊地計画

### (1) 計画変更の必要性

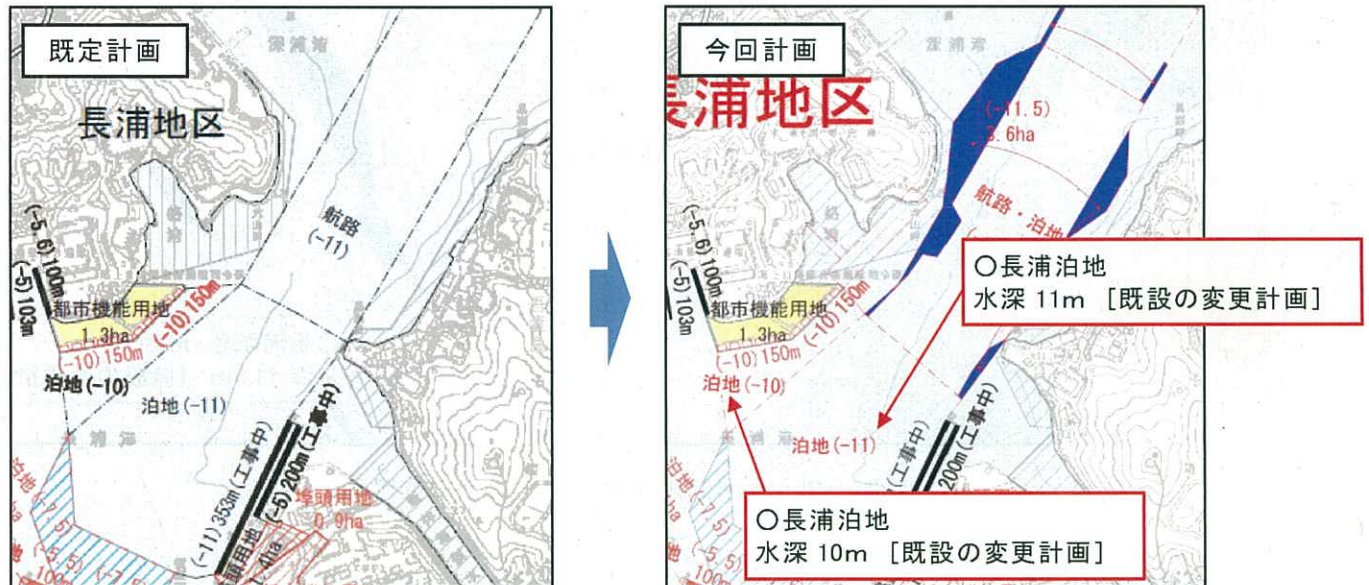
長浦地区において、当該水域を利用する船舶の大型化に対応するため、泊地を変更する必要がある。

### (2) 泊地の規模及び配置

計画に位置付ける泊地の規模及び配置は次のとおりである。

表II-2 今回計画する泊地の規模及び配置の考え方

地区	水深 (m)	面積 (ha)	区分	水深、配置、法線及び面積の考え方
長浦	-11	—	既設の 変更計画	対象船舶の航行、操船に必要な水深及び面積（船長の2倍を直径とする円）を確保するため、航路・泊地を位置づけることによる泊地面積の減少
	-10	—	既設の 変更計画	対象船舶の航行、操船に必要な水深及び面積（船長の2倍を直径とする円）を確保するため、航路・泊地を位置づけことによる泊地面積の減少



図II-2 今回計画する泊地の位置図

## II-3 航路・泊地計画

### (1) 計画変更の必要性

長浦地区において、当該水域を利用する船舶の大型化に対応するため、航路・泊地を計画する必要がある。

### (2) 航路・泊地の規模及び配置

計画に位置付ける航路・泊地の規模及び配置は次のとおりである。

表 II-3 今回計画する航路・泊地の規模及び配置の考え方

地区	水深 (m)	面積 (ha)	区分	水深、配置、法線及び面積の考え方
長浦	-11.5	3.6	既設の 変更計画	対象船舶の航行、操船に必要な水深及び面積（船長の2倍を直径とする円）を確保する。

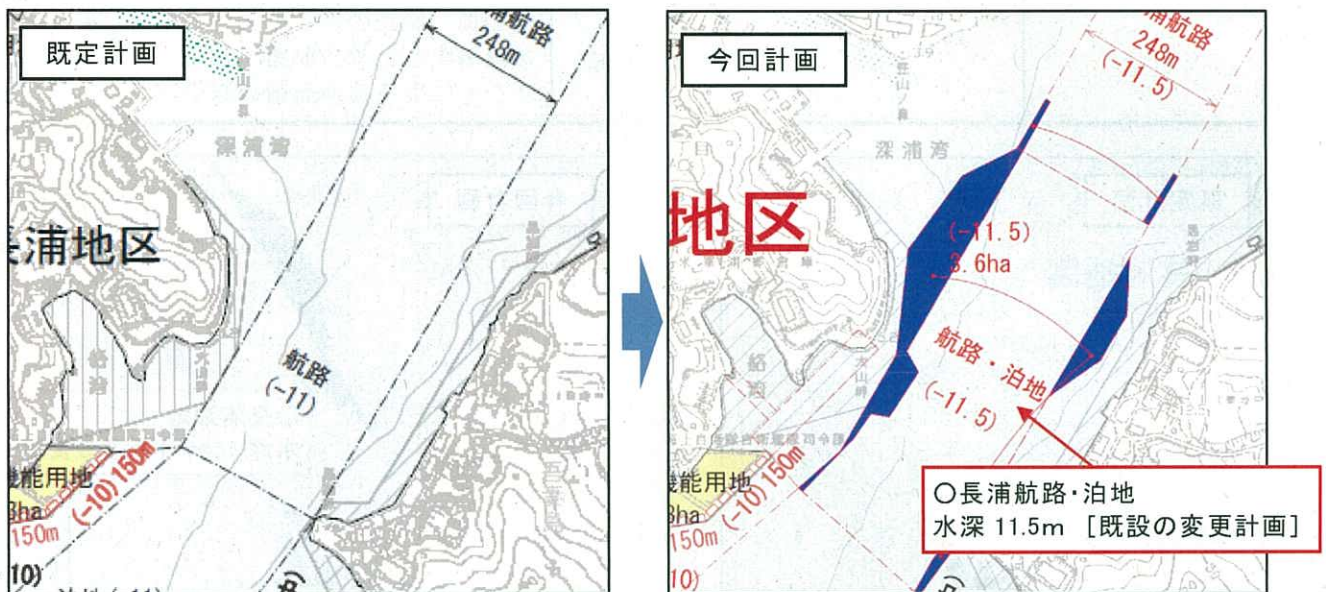


図 II-3 今回計画する航路・泊地の位置図



図 II - 4 出港操船の一例

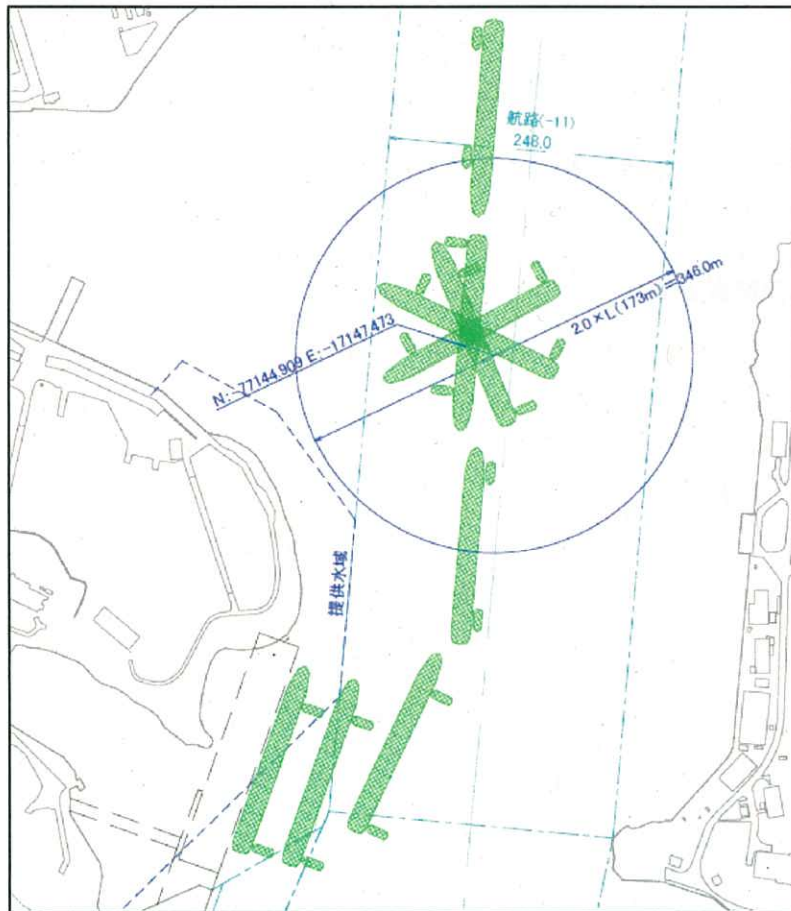


図 II - 5 入港操船の一例

### Ⅲ 環境の保全に関する資料

#### Ⅲ－１ 環境への影響と評価

##### (1) 大気質への影響と評価

今回の計画変更に伴う大気質への影響は、大気質への負荷が著しく増大するものではないことから、軽微であると考えられる。

##### (2) 騒音・振動による影響と評価

今回の計画変更に伴う騒音・振動による影響は、港湾からの発生集中交通量が著しく増大するものではないことから、軽微であると考えられる。

##### (3) 潮流への影響と評価

今回の計画変更が港周辺の潮流に与える影響は、浚渫深さが大きくないことから、軽微であると考えられる。

##### (4) 水質への影響と評価

今回の計画変更が水質に与える影響は、潮流に与える影響が軽微であると予測され、新たな汚濁負荷が著しく増大するものではないことから、軽微であると考えられる。

##### (5) 生態系への影響と評価

今回の計画変更が生態系に与える影響は、潮流、水質に与える影響が軽微であると予測されることから、軽微であると考えられる。

#### Ⅲ－２ 総合評価

今回の計画変更に伴う環境への影響について検討した結果、その影響は軽微であると考えられる。

なお、今後とも環境保全については十分配慮するとともに、今回計画の実施にあたっては、工法・工期等について十分検討し、十分な監視体制のもとに、環境に与える影響を小さくするよう慎重に行うものとする。



## IV その他の資料

### IV-1 横須賀市港湾審議会委員名簿

令和2年8月1日現在（敬称略、順不同）

	氏 名	役 職 名
学識経験者	須野原 豊	公益社団法人 日本港湾協会理事長
	平松 廣 司	横須賀商工会議所会頭
	三浦 由 理	ナレッジトラスト代表
港湾関係者	鈴木 稔	横須賀港運協会会長
	竹中 五 雄	東京湾水先区水先人会会長
	飛松 正 幸	横須賀市東部漁業協同組合代表理事組合長
	井上 祐 介	三浦半島地域連合幹事
	中井 英 樹	日本船主協会
市議会議員	山本 けんじゅ	横須賀市議会都市整備常任委員長
市民	鈴木千嘉江	公募市民
国の地方行政機関	永井 章	横浜税関横須賀税関支署長
	春山 忠 嗣	関東運輸局交通政策部計画調整官
	衛藤 謙 介	関東地方整備局港湾空港部長
	相馬 淳	横須賀港長
関係地方公共団体	佐藤 亮 一	神奈川県県土整備局河川下水道部長
	田中 茂	横須賀市副市長